

OBA MJ 連載

# Vol.47 行政連携

## 伏見 隆 枚方市長インタビュー



枚方市のキャラクター  
ひこほしくん

2016年4月、枚方市役所において、市長インタビューを行いました。

2015年9月に市長に就任された、伏見隆市長に、枚方市への思いや弁護士会への要望などをお聞きしました。

### Profile

枚方市長 伏見 隆 氏

昭和43年4月25日生まれ

平成5年3月 京都産業大学経営学部卒業

平成15年4月 枚方市議会議員（2期）

平成23年4月 大阪府議会議員（1期）

平成27年9月 枚方市長就任

### Hirakata City Data

#### 【枚方市の概要】

人 □ 405,501人（平成28年4月末現在）

総世帯数 177,238世帯（同上）

総面積 65.12平方キロメートル

会計予算 2844億4900万円（平成28年度当初予算）

### about Interview

#### 【日時・場所】

平成28年4月5日（火）午後1時～2時

枚方市役所別館4階市長応接室

#### 【聞き手】

田上智子（大阪弁護士会 副会長）

金子武嗣（行政連携センター運営委員会 委員長）

岸本佳浩（行政連携センター運営委員会 副委員長）

森本 宏（行政連携センター運営委員会 委員）

滝口広子（行政問題委員会 委員）



## 枚方市のPR

—— 最初に、枚方市のプロフィールを教えてください。

本市は、大阪府の北東部に位置し、西を淀川、東を生駒山系に囲まれています。

6世紀に継体天皇が樟葉宮で即位し、平安貴族が鷹狩や花見に訪れていましたし、江戸時代には東海道の56番目の宿場町ということでにぎわいを見せていたというような、歴史のある街です。

大阪と京都の真ん中という、通勤に非常に便利な場所ということもあり、戦後はベッドタウンとして

急成長を遂げました。平成26年4月には中核市となり、来年、平成29年には、市制施行70周年を迎えます。人口は40万人を超えて、大阪府下で4番目の人口規模の市となります。

—— 伏見市長は、枚方市議会議員を2期、大阪府議会議員を1期お務めになって、平成27年9月から枚方市長になられているわけですが、枚方市長に立候補された動機はどのようなものでしょうか。

私は、枚方で生まれ育ちました。議員となって他市の状況を見る機会が増え、枚方の元気がなくなっ



ているように感じていましたし、人口の流出が進んでいるというデータも目の当たりにしました。今このタイミングで手を打っていかねば枚方の将来は明るいものにならないという認識を強めて市長への立候補を決断しました。

—— 他市との比較というものを考える場合、どのような市が比較の対象となるのでしょうか。

淀川を挟んだ対岸は特に意識します。具体的には、JRや阪急の京都線の沿線都市です。

弁護士の方は、西宮市や宝塚市にたくさん住んでおられるようなイメージを持っていますので、兵庫県であれば阪神間の都市なども意識しています。

こういう市も意識しながら、枚方を、より多くのみなさまに住みたいと選んでもらえるような市にしたいと思っています。

—— 積極的に枚方市に住みたいという市でないと競争に勝ち残っていけないということでしょうか。

そうですね。人口減少への対応は、重要です。今

は、どこの自治体も定住促進に力を入れていますが、枚方市でも特に力を入れていきたいと考えています。—— 枚方市のアピールポイントを教えていただけますか。

まず、駅近に楽しみがたくさんあることですね。樟葉駅前には、大型ショッピングモール「くずはモール」がありますし、枚方公園駅には、関西を代表する遊園地「ひらかたパーク」があります。枚方出身のV6の岡田准一さんがひらパー兄さんになったことで全国的にも有名になりました。さらに、枚方市駅前には、今年5月に蔦屋書店を軸とした「枚方T-SITE」がオープンする予定です。枚方市駅から枚方公園駅にかけては、毎月「枚方宿くらわんか五六市」が開かれ、多くの人で賑わっています。

また、枚方で子どもを産んで育てたいと思っていただけるように、妊娠から子育てまで切れ目ない支援をおこなって、安心して出産、子育てをしてもらえるような取り組みを進めています。待機児童の問題は国会でも取り上げられていますけれど、枚方市では、今年4月に待機児童ゼロを発表させていただきましたが、通年でいつでも待機児童をゼロにすることを目指しています。

子育てがしやすく、楽しいことが身近にたくさんあるというようなまちを作っていきたいと思っています。

## 弁護士の活用について

—— 枚方市における、弁護士の活用の実情を教えてくださいいただけますか。

現在、弁護士の方には、顧問弁護士やいろいろな審議会の委員に入っています。また、今年から、改正行政不服審査法の施行の関係で、弁護士の方に、審理員になっていただきました。枚方市としては、非常勤で弁護士に入ってもらえるのが初めてです。

—— 他市では任期付職員を採用されているところも増えてきていますし、債権回収業務のみを担当する短時間任期付職員や非常勤嘱託職員を採用しておられる市も増えてきています。このような形で弁護士を

活用するという点について、どのようなお考えをお持ちでしょうか。

枚方市でも、税金や健康保険などたくさんの分野で滞納という問題があります。その債権回収に力を入れていこうという取り組みをしていますので、債権回収業務について弁護士の方にお問い合わせをすることは考えられると思います。

また、これから枚方市駅周辺の再整備を進めていかないといけないので、その中で地権者との協議などが必要になってくるとか、さまざまな分野で弁護士の方にかかわっていただく必要があるようなところも出てくるかと思えます。そのようなときに、何もかもを顧問弁護士に相談するというのではなく、任期付職員という形で弁護士に入ってもらおうということも、これから考えていく必要があるかなと思います。

## 「行政連携のお品書き」について

— 大阪弁護士会では、弁護士が具体的にどんな役に立てるのかをわかっていただきやすくするために、「行政連携のお品書き」というパンフレットを作っています。

こうやってまとめていただくと非常にわかりやすいです。私どもも、弁護士といいますが、顧問弁護士や審議会の委員等のイメージはつくのですが、他にどういうところでお願いすることがあるかと考えた時に、なかなか思い浮かばないですが、こうやって分野別に書いていただくとイメージがわきます。

— ご覧いただいて、目につくものとか興味が出そうなものはありますでしょうか。

やはり、先ほどから話に出ている債権回収とか、コンプライアンスとかが、目につきました。

— 「お品書き」の中には、外部監査という項目もあるのですが、包括外部監査人の選定について、弁護士会に推薦依頼を出してしていただくということは、検討の余地はありますでしょうか。

枚方市では、包括外部監査人については、公募をしまして、包括外部監査人選定委員会で、監査人を選定しています。3年前の選定委員会で、包括

外部監査人の候補者の応募資格要件を議論し、そこでは、監査ということになると、経済性と効率性と有効性という観点から公認会計士と税理士は必要だろう。弁護士は必要に応じて補助者として登録していただくので支障は生じていないので、監査人候補者からは外すとの結論になったと聞いています。ただ、今後、弁護士を監査人候補者の応募資格要件に加えることを検討する余地は十分にあるのではないかなと思います。

— ぜひよろしく願います。また、逆に、自治体側から、弁護士会にこういうことを期待しているということがありましたら、教えていただけますか。

少子高齢化等、地域社会の状況は大きく変化してきています。「お品書き」に掲載されていますが、虐待とか生活困窮者の支援など、新しい問題ではないけれど、これまでなかなか対応できていなかったものについて、さまざまな場面で連携させていただいて解決の方向に向かっていければと思います。

— 大阪弁護士会の行政連携センターにご連絡をいただければ、ニーズに対応できるようなご提案や、適切な弁護士の推薦などをさせていただきます。ぜひ、何かありましたら、お声掛けください。本日は、お忙しい中、貴重なお話をいただきまして、ありがとうございました。



■自治体向け法的支援・弁護士採用等のお問合せ先  
大阪弁護士会行政連携センター  
電話 06-6364-1681  
(大阪弁護士会委員会部司法課が対応いたします。)